

組織現勢 (12月1日現在)	
組合員数	20,091人
出資口数	95,759口
11月の新規加入	74人
11月の増資口数	276口

No. 389 再生紙を使用しています。

城南の保健

発行所
城南保健生活協同組合
 本部事務局 大田区大森東4-6-15-101
 TEL (3762) 0266
 振込銀行 さわやか信用金庫大森支店
 口座(普) 0469459
 発行 「城南の保健」編集委員会
 毎月1回発行・定価1部 30円

組合員の皆さまには健やかな新年を迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より城南保健生協の事業と運動にご参加、ご支援いただきありがとうございます。

昨年(戦後70年・被爆70年)の区切りの年でしたが、安倍政権は集団的自衛権の行使容認にはじまって、戦争法というべき安保法制の強行採決など、憲法を無視して「戦争する国づくり」を強引にすすめています。

こうした中で、戦争法NO、米軍基地強化NOの国民的な怒りが一気に拡がり、「アベ政治を許さない」「SEALDs」は2015年の新語・流行語



城南保健生活協同組合理事長 植田栄一

あけましておめでとうございます



2016年も元気にスタートします (駅伝フェスティバルより)

「健康づくり」を行う城南保健生協は、地域の方々と一緒に「安心して住み続けられるまちづくり」のために明確な姿勢をもって取り組んでまいります。

●戦争法廃止を求めいきます

トップテンに入りました。「民主主義って何だ」「これだ!」「立憲主義って何だ」「これだ!」を合言葉に若者男女、党派を超えて多くの国民が立ち上がっています。とりわけ、若者たちが若いママさんたちの運動の拡がりは日本の未来を明るく照らしています。

私たちは「無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です」。協力医療機関である大田病院を含む民医連に加盟する法人は差額ベッド料をとっていません。

2016年、広義の意味での「健康づくり」を行う城南保健生協は、地域の方々と一緒に「安心して住み続けられるまちづくり」のために明確な姿勢をもって取り組んでまいります。

組合員の皆さま、日頃から城南福祉医療協会の医療・介護活動を応援していただきありがとうございます。

大田病院は、昨年7月に3回目の「病院機能評価」を受審しました。第三者の目で、大田病院の医療内容を審査されるのですが、「救急医療を断らない」「東京ルール」の幹事病院「差額ベッドがない」「無料低額診療事業」「無料街頭健康相談会」「患者支援機能を発揮し



城南福祉医療協会理事長 千田宏司

消費増税に反対します
 ●沖縄・辺野古への基地建設強行に反対します
 ●憲法9条の改悪に反対します
 ●社会保障制度・介護保険制度の改悪に反対します
 ●TPPの「大筋合意」撤回を求めます

今年(申(サル)年)です。昔から「見ザル言ワザル聞カザル」の三ザルと言われてきましたが主権者として「よく見てよく聞いてもの申す」年にしましょう。「一人の力は微力だが無力ではない」「明日の天気は変えられないが明日の政治は変えられる」を胸に刻んで、私たちの要求や願いが実現する政治への転換を求めていきましょう。このたたかひこそが日本のそして人類の未来をひらく力です。

組合員の皆さまと力をあわせて、命と健康が最優先される世の中になるよう、理事会を先頭に頑張っています。

国民医療費が毎年増え続けていること、2年ごとに診療・調剤報酬の改定と薬価の引き下げが行われていきます。今年はこの改定の年に当たりますので4月1日以降、城南医薬の6薬局とゆたか調剤薬局で、今までも窓口でのお支払い金額が下がります。具体的には「かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師」の役割が重要となります。城南医薬保健協働が大森薬局を開局して27年が経過しま



城南医薬保健協働代表取締役 神岡 勤

4月の調剤報酬とも関連しますが、薬剤師は定期的に受診されている患者さんから飲み残した薬の有無等をお聞きして、処方日数の変更や処方薬の取り消しを問い合わせることがあります。薬局内での患者さんの待ち時間を考えますと、診察の時に飲み残し薬が多めにある場合は、処方日数を調整してもらうことが必要となります。

厚生労働省は国民健康づくり運動を進めるために「健康日本21」をつくりました。その中には「かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師」の役割が重要となります。城南医薬保健協働が大森薬局を開局して27年が経過しま

減されることとなります。高齢者がますます増える社会に向けて、安心・安全の医療、介護の充実が求められる時に、まさに、医療崩壊を起こす政策でしかありません。城南福祉医療協会は地域の健康、医療、介護を守りぬくためにも、適正な診療報酬となるように働きかけていきたいと思います。本紙、昨年9月号で紹介した城南福祉医療協会の今後の取り組みに加えて、今年の新しい取り組みについて若干触れたいと思います。



グループホーム虹の家みちづか



グループホーム虹の家しおかぜ

大田病院では、2016年2月から「HCU(ハイケアユニット:高度治療室)」「病室4床を開始する予定です。」「HCU」は「ICU(集中治療室)」と一般病室の中間に位置する病室で、開設に向けて、部屋の改修も12月上旬に終了しています。「HCU」病室では、救急搬送された患者さんや高度の治療および介護必要度の高い入院中の患者さんを、今まで以上に集中的に治療することができるようになります。

さらに4月からは、大田病院は「DPC対象病院」となる予定です。DPCとは、Diagnosis Procedure Combinationの略で、主病名、処置、合併症などの因子を組み合わせた日本独自の診断群分類です。これは大学病院をはじめとして、全国1580病院です。採用されているものですが、「DPC対象病院」にな

「福祉タクシーラくだ」などを営業し、介護・福祉分野にも力を注いでいます。私たち城南3法人が掲げる基本的精神は「無差別平等の医療」です。言葉だけではなく、地域にお住まいのすべての皆さまが安心して日々の生活を送っていただけるよう、持てる限りの力を尽くしてまいります。

今年も職員全員がんばりますので、よろしくお願ひします。

●自宅で療養されている患者さま、また介護にあたるご家族の皆さまのお力にもなるよう、処方せんによる医療用医薬品の供給のみならず、在宅支援にも力を入れています。また、薬局事業のほかに、福祉用具のレンタル・販売を行う「介護ショップラくだ」、地域の患者さま、利用者さまの足となる「福祉タクシーラくだ」などを営業し、介護・福祉分野にも力を注いでいます。私たち城南3法人が掲げる基本的精神は「無差別平等の医療」です。言葉だけではなく、地域にお住まいのすべての皆さまが安心して日々の生活を送っていただけるよう、持てる限りの力を尽くしてまいります。

また、ゆたか診療所の「ゆたかの家」では、患者さんや地域の方々の交流や語らいの場として、さまざまな催しや講演会などが開かれています。昨年11月から、大田病院でも「おれんじくらぶ」を、毎月第3土曜日の午前が開いています。多くの組合員さん、地域の方々の参加で、おおいに賑やかにしたいと思っています。

このことにより、個々の診療行為ごとの治療費を合計する「出来高払い」から、一連の診療行為をひとまとめにして支払う「包括払い」となります。支払い方式の変更だけではなく、大田病院の医療内容が透明化され、さらに他の多くの病院との医療内容の比較が可能となり、他病院のいいところはどんどん参考にし、大田病院の医療内容を向上させることができます。